

調査名 第62期弁護士キャリアパス第2回郵送調査, 2014

寄託者(寄託時) 第62期弁護士キャリアパス研究会

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

全員の方に**問1 あなたが合格した司法試験についてお尋ねします。**

⑤=1

問1-1 あなたが合格した司法試験は、旧司法試験ですか、新司法試験ですか。(〇は1つ)

1	旧	2	新
---	---	---	---

⑥

問1-1-1 あなたが合格した司法試験の選択科目を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。(〇は1つ)

- | | |
|---------|--------------|
| 1 倒産法 | 5 労働法 |
| 2 租税法 | 6 環境法 |
| 3 経済法 | 7 国際関係法(公法系) |
| 4 知的財産法 | 8 国際関係法(私法系) |

⑦

問1-2 あなたが合格した年を教えてください。(西暦または和暦のいずれかに記入してください)

西暦	2	0		年	和暦	平成		年
----	---	---	--	---	----	----	--	---

⑧⑨
⑩⑪

問1-3 あなたが合格するまでの新司法試験の受験経験を教えてください。

旧司法試験		回	新司法試験		回
-------	--	---	-------	--	---

⑫⑬
⑭⑮**【以下の問2は新司法試験合格者のみにお尋ねします。****旧司法試験合格者の方は4ページの問3に進んでください。】****新司法試験合格者の方に****問2 法科大学院についてお尋ねします。**

問2-1 修了した法科大学院の名称を記入してください。

⑯

問2-2 修了した年月を記入してください。(西暦または和暦のいずれかに記入してください)

西暦	2	0		年		月
和暦	平成		年		月	

⑰～⑳
・～・

問2-3 修了したコース・課程等(〇は1つ)

1 2年短縮コース	2 3年標準コース	3 長期履修コース
-----------	-----------	-----------

問2-4 「3年標準コース」に○をつけた方にお伺いします。大学の学部で取得された学士号は、「学士(法学)」あるいは「法学士」でしたか。

1 はい	2 いいえ	3 わからない(卒業された学部名をお答えください) (_____ 学部)
------	-------	--

【1】

問2-5 法科大学院での勉強内容に関して、下に掲げる法科大学院の科目を履修しましたか。

(それぞれ〇は1つずつ)

	履修した	履修しなかった
(1) エクスターンシップ (インターンシップ)	1	2
(2) 模擬裁判	1	2
(3) 模擬裁判以外のシミュレーション科目 (面接、交渉、調停の技法など)	1	2
(4) クリニック科目 (現実の相談者・依頼者の事案を扱う科目)	1	2

問2-6 現在の時点で法科大学院での経験を振り返ってみたとき、下記の事項のそれぞれにつき、法科大学院はあなたにとってどの程度有益でしたか。あてはまる番号を1つ選んで〇をつけてください。

(それぞれ〇は1つずつ)

	有益で なかった	どちらかと いえば有益 でなかった	どちらかと いえば有益 だった	有益だった
(1) 法知識の習得	1	2	3	4
(2) 法情報調査能力	1	2	3	4
(3) 弁護士を選択する上での動機づけ	1	2	3	4
(4) 弁護士倫理の習得	1	2	3	4
(5) 実務技能の習得	1	2	3	4
(6) 特定分野への関心の獲得	1	2	3	4
(7) 人的ネットワークの構築	1	2	3	4
(8) 登録地に関する情報	1	2	3	4
(9) 就職先に関する情報	1	2	3	4
(10) その他で法科大学院が有益だったことがあれば、具体的に記入してください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>				

問2-7 現在の時点で法科大学院での経験を振り返ってみたとき、法科大学院についてとくに改善すべきだと思われるのはどのような事柄ですか。自由に記入してください。

全員の方に

問3 司法修習についてお尋ねします。

問3-1 実務修習の場所はどこですか。配属裁判所名を記入してください。

() 裁判所

問3-2 弁護士となって振り返って見たとき、司法修習は、下記の事柄に関してどの程度有益であったと思われますか。それぞれの事柄について、4段階評価のあてはまる番号に○をつけてください

(それぞれ○は1つつ)

	有益で なかった	どちらかと いえば有益 でなかった	どちらかと いえば有益 だった	有益だった
(1) 法知識の習得	1	2	3	4
(2) 法情報調査能力	1	2	3	4
(3) 弁護士を選択する上での動機づけ	1	2	3	4
(4) 弁護士倫理の習得	1	2	3	4
(5) 実務技能の習得	1	2	3	4
(6) 特定分野への関心の獲得	1	2	3	4
(7) 人的ネットワークの構築	1	2	3	4
(8) 登録地に関する情報	1	2	3	4
(9) 就職先に関する情報	1	2	3	4
(10) その他で法科大学院が有益だったことがあれば、具体的に記入してください。 []				

問3-3 弁護士となって振り返って見たとき、司法修習についてとくに改善すべきだと思われるのはどのような事柄ですか。自由に記入してください。

--

問4 あなたの登録地と職場

あなたの登録地や職場（事務所）についてお尋ねします。

左のページと右のページとがつながってひとつの表になっています。

「最初の登録地・事務所」について、左ページから横に右ページへかけて、(1)～(8)の質問に、回答欄の数字に○をつけるか、月日・数字を入れてお答えください。

登録地・事務所を変わられたことがある方は「2つめの登録地・事務所」以下に、やはり左ページから横に右ページにかけて、同じようにお答えください。

	(1) 登録年月	(2) 登録弁護士会				(3) 事務所所在地			(4) 登録地(市町村単位)の弁護士数(登録時、自分を含む)		(5) 登録事務所の弁護士数(登録時、自分を含む)			
		1	2	3	4	1	2	3	1	2	1	2	3	
		東京三会	大阪弁護士会	他の高裁本庁のある弁護士会	上記以外の弁護士会	東京23区内	県庁所在地(市)	上記以外の市町村	登録地の市町村には、10人以上の弁護士がいた	登録地の市町村には、10人未満の弁護士しかいなかった	弁護士(人数を記入してください)	外国法事務弁護士(人数を記入してください)	外国弁護士(人数を記入してください)	
	<input type="checkbox"/> 西暦 <input type="checkbox"/> 和暦													
最初の登録地・事務所	年 月	1	2	3	4	1	2	3	1	2	() 人	() 人	() 人	→
以下は事務所を変わられた方のみご回答ください														
2つめの登録地・事務所	年 月	1	2	3	4	1	2	3	1	2	() 人	() 人	() 人	→
3つめの登録地・事務所	年 月	1	2	3	4	1	2	3	1	2	() 人	() 人	() 人	→
4つめの登録地・事務所	年 月	1	2	3	4	1	2	3	1	2	() 人	() 人	() 人	→

(6) 登録事務所の種類 (登録時)									(7) あなたの事務所内での地位 (登録時)							(8) 同一事務所内での 地位の異動 (経験された異動すべて にご回答ください)			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
公設事務所	法テラス法律事務所	法科大学院と連携したクリニック事務所	外国法事務弁護士事務所(外国法共同事業)	組織内弁護士 (インハウス)			1～7以外の民間法律事務所	その他(具体的に記入してください)	事務所設立者たる経営弁護士	1以外の経営弁護士	法テラスが採用した、養成事務所 で養成を受ける 弁護士(法テラス新スキーム)	養成事務所が採用した、養成を受ける 弁護士(法テラス従来スキーム、ひまわり含む)	4以外の勤務弁護士	独立採算弁護士	その他(具体的に記入してください)	同一事務所内で地位の異動 があった場合、その月日をご記入ください。			
				国(行政法人等含む)	地方公共団体(行政法人等含む)	企業										経営弁護士になった	勤務弁護士になった	独立採算弁護士になった	その他の地位になった (具体的に記入してください)
→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	年	年	年	年
↓									↓							↓			
具体的に()									具体的に()							具体的に()			
以下は事務所を変わられた方のみご回答ください																			
→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	年	年	年	年
↓									↓							↓			
具体的に()									具体的に()							具体的に()			
→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	年	年	年	年
↓									↓							↓			
具体的に()									具体的に()							具体的に()			
→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	年	年	年	年
↓									↓							↓			
具体的に()									具体的に()							具体的に()			

⑤=2

⑥

~

↓

)

~

↓

)

⑤=3

⑥

~

↓

)

~

↓

)

問5 現在登録している職場を選択した理由

あなたが現在登録されている職場（事務所）を選択した理由についておたずねします。それぞれの理由について、「1 あてはまらない」～「4 あてはまる」のいずれかに○をつけてください。

現在登録している事務所を選択した理由						
番号	理由	あてはまらない	あてはまらな い ど ち ら か と い え ば	あてはま る ど ち ら か と い え ば	あてはまる	⑤=4
(1)	所属弁護士に勧誘された	1	2	3	4	⑥
(2)	やりたい仕事ができる	1	2	3	4	⑦
(3)	収入等の経済的条件がよい	1	2	3	4	⑧
(4)	自分で事件を受注することができる	1	2	3	4	⑨
(5)	入所先等に将来性がある	1	2	3	4	⑩
(6)	将来が希望どうりである（パートナーになれる等）	1	2	3	4	⑪
(7)	契約期間	1	2	3	4	⑫
(8)	時間にゆとりがある	1	2	3	4	⑬
(9)	産休、育休がとれる	1	2	3	4	⑭
(10)	会務が自由にできる	1	2	3	4	⑮
(11)	プロボノ活動が自由にできる	1	2	3	4	⑯
(12)	性別を活かした仕事ができる	1	2	3	4	⑰
(13)	良好な人間関係が期待できる	1	2	3	4	⑱
(14)	実家、地元に近い	1	2	3	4	⑲
(15)	実務修習地の事務所だった	1	2	3	4	⑳
(16)	出身法科大学院の所在地の事務所だった	1	2	3	4	・
(17)	就業地の司法サービスの充実に貢献したい	1	2	3	4	・
(18)	弁護士過疎地に就職したかった	1	2	3	4	・
(19)	社会人経験を活かした仕事ができる	1	2	3	4	・
(20)	司法試験合格前の所属企業だった	1	2	3	4	・
(21)	家族・親族の事務所だった	1	2	3	4	・
(22)	他に選択肢がなかった	1	2	3	4	・
(23)	自分で事務所を開設した	1	2	3	4	・
(24)	その他の理由があれば具体的に記入してください ()					・

問6 労働時間

問6-1 **最近1年間**の活動を振り返ってみて、あなたの**週あたりの**平均総労働時間は、およそ何時間になりますか。概算で時間数をお答えください。

週平均	およそ	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>	時間
-----	-----	---	----

・～・

問6-2 **最近1年間**の活動を振り返ってみて、あなたの**週あたりの**平均総労働時間は、**3年前（2011年1月）と比べて**増えていますか、減っていますか。下の選択肢からあてはまるものを1つお答えください。

1	2	3	4	5
かなり減っている	多少減っている	変わっていない	多少増えている	かなり増えている

・

問6-3 **最近1年間**の活動を振り返ってみて、あなたの総労働時間のうち、次に挙げる業務または活動にあてられる時間はどれくらいの割合を占めますか。**全体が100%になるように**、それぞれの割合（パーセンテージ）をお答えください。

業務または活動の種類	週当たり平均総労働時間に占める割合			
(ア) あなた自身が、単独または共同で受任してクライアントから報酬を受領する弁護士業務				%
(イ) 上司の指示に基づいて行う、受任していない案件についての補助的業務				%
(ウ) 企業・官公庁等の組織内弁護士としての業務				%
(エ) 国選弁護や法律扶助など公的機関から報酬を得て行う弁護士業務				%
(オ) 弁護士活動、プロボノ活動、各種の無料法律相談会など、低報酬または無報酬で行う公益業務				%
(カ) 裁判所の調停員、非常勤裁判官、ADR機関の仲裁人など、司法関係の活動				%
(キ) 大学（院）教員・チューターなどとしての教育活動				%
(ク) 国や自治体の非常勤公務員、議員、議員政策秘書、社外取締役、講演活動、研究・著述活動など、社会における活動				%
(ケ) 弁護士会における活動（会務、研修、研究会など）				%
(コ) その他（具体的に： <input style="width: 150px;" type="text"/>)				%
合 計	1	0	0	%

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

・～・

【4】

問7 民事分野の労働時間配分

あなたの業務内容のうち、**民事分野についてのみ**お尋ねします。あなたは、**過去1年間**、民事分野で取り扱った業務で、下の各種別の業務のそれぞれにどれくらいの時間を費やしていますか。

民事分野業務全体が100%になるように、そこに占めるおおよその割合（パーセンテージ）でお答えください。

	民事業務の種類	民事業務の週当たり平均総労働時間に占める割合				
紛争案件	(ア) 訴訟案件				%	・～・
	(イ) 調停案件				%	・～・
	(ウ) その他裁判所手続案件 (労働審判、非訟事件、執行、管財など)				%	・～・
	(エ) その他の紛争案件 (示談交渉、行政・民間のADR機関利用等を含む)				%	・～・
非紛争案件	(オ) 受任関係、または顧問関係にある依頼者のための取引交渉、助言、調査、文書作成など				%	・～・
	(カ) 企業・官庁に雇用された組織内弁護士としての、組織トップ・他部門などのための取引交渉、助言、調査、文書作成など				%	・～・
	(キ) その他の非紛争案件				%	・～・
	合 計	1	0	0	%	

問8 業務分野別の労働時間配分

最近1年間、依頼者（顧問先を含む）、または所属組織（企業内弁護士、官庁内弁護士の場合）のためにあなたが取り扱った業務で、どのような業務にどれほど時間を使いましたか。下に挙げる業務分野ごとに、どれくらい時間を使ったか、その程度につき、あてはまるものを1つ選んでください。

（ア）～（ヤ）のそれぞれを横に読んで、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください

		まったく時間を 使わなかった	ほとんど時間を 使わなかった	ある程度 の時間を 使った	かなりの 時間を 使った	⑤=5
刑事	(ア) 刑事弁護	1	2	3	4	⑥
	(イ) 少年事件	1	2	3	4	⑦
	(ウ) 犯罪被害者支援	1	2	3	4	⑧
一般民事	(エ) 遺言・相続	1	2	3	4	⑨
	(オ) 近隣関係問題	1	2	3	4	⑩
	(カ) 不動産売買	1	2	3	4	⑪
	(キ) 建築紛争	1	2	3	4	⑫
	(ク) 債権回収	1	2	3	4	⑬
	(ケ) 労働災害	1	2	3	4	⑭
外国人の人権問題	(コ) 外国人の人権問題	1	2	3	4	⑮
消費者問題	(サ) 消費者側	1	2	3	4	⑯
	(シ) 業者側	1	2	3	4	⑰
環境・公害問題	(ス) 環境・公害問題	1	2	3	4	⑱
交通事故	(セ) 原告側	1	2	3	4	⑲
	(ソ) 被告・保険会社側	1	2	3	4	⑳
医療事故	(タ) 患者側	1	2	3	4	・
	(チ) 医師・病院側	1	2	3	4	・
家族・親族	(ツ) 国内事件	1	2	3	4	・
	(テ) 国際事件	1	2	3	4	・
不動産賃貸借	(ト) 貸し主側	1	2	3	4	・
	(ナ) 借り手側	1	2	3	4	・
労働問題	(ニ) 労働者側	1	2	3	4	・
	(ヌ) 使用者側	1	2	3	4	・
行政事件	(ネ) 個人代理	1	2	3	4	・
	(ノ) 企業代理	1	2	3	4	・
	(ハ) 行政機関代理	1	2	3	4	・
税金問題	(ヒ) 個人・零細企業代理	1	2	3	4	・
	(フ) その他企業代理	1	2	3	4	・
倒産処理・債務整理	(ヘ) 任意整理・個人再生・個人破産	1	2	3	4	・
	(ホ) 企業倒産・整理・再生	1	2	3	4	・
	(マ) 破産管財人・再生監督委員	1	2	3	4	・
企業法務	(ミ) 企業合併・買収	1	2	3	4	・
	(ム) 独占禁止	1	2	3	4	・
	(メ) 知的財産	1	2	3	4	・
	(モ) 渉外・国際取引	1	2	3	4	・
	(ヤ) その他の企業法務	1	2	3	4	・

【5】

問9 依頼者の種類と労働時間配分

最近1年間、あなたが依頼者（顧問先を含む）、あるいは雇用されている企業・官公庁などのために行った業務を振り返ってみて、どのような依頼者の業務にどれだけの時間を費やしましたか。下に挙げる依頼者の種類ごとに、**全体が100%となるように**、そこに占めるおおよその割合（パーセンテージ）でお答えください。

依頼者の種類	週あたり平均総労働時間に占める割合				
(ア) 個人（扶助案件・国選弁護案件）				%	・～・
(イ) 個人（扶助案件・国選弁護案件 以外 ）				%	・～・
(ウ) 全国規模の大企業				%	・～・
(エ) 地元の大企業				%	・～・
(オ) 中小企業（個人企業を含む）				%	・～・
(カ) 官公庁				%	・～・
(キ) その他				%	・～・
合 計	1	0	0	%	

問10 弁護士をしている理由

現在、あなたが弁護士という職業に就いている理由は何ですか。下記の(1)～(8)の理由について、4段階評価のあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つずつ）

弁護士をしている理由	ほとんどあてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらかというにあてはまる	かなりあてはまる	
(1) 社会正義の実現に貢献できるから	1	2	3	4	・
(2) 在野精神をもって仕事ができるから	1	2	3	4	・
(3) 経済的に安定しているから	1	2	3	4	・
(4) 自由で独立して仕事ができるから	1	2	3	4	・
(5) 知的に興味深い仕事を追求できるから	1	2	3	4	・
(6) 現状からのキャリア・アップができるから	1	2	3	4	・
(7) ワーク・ライフ・バランスを保って仕事ができるから	1	2	3	4	・
(8) せっかく取得した法曹資格を生かしたいから	1	2	3	4	・

問 11 所得

問 11-1 あなたの 2013 年の所得（税込。確定申告をする場合は申告所得）は、どの程度になると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

⑤=6

1	70 万円以下	6	700 万円以上 1,000 万円未満
2	70 万円超 200 万円未満	7	1,000 万円以上 1,500 万円未満
3	200 万円以上 300 万円未満	8	1,500 万円以上 2,000 万円未満
4	300 万円以上 500 万円未満	9	2,000 万円以上
5	500 万円以上 700 万円未満		

⑥

問 11-2 あなたの 2013 年の所得は、2010 年当時と比べて、どう変化しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

	減った	どちらかといえば 減った	変わらない	どちらかといえば 増えた	増えた
	1	2	3	4	5

⑦

問 12 満足度

問 12-1 あなたは、現在、弁護士としての職業生活において、全般的にどの程度満足していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

	不満足	どちらかといえば 不満足	どちらかといえば 満足	満足
	1	2	3	4

⑧

問 12-2 あなたは、現在、弁護士としての職業生活において、次の(1)から(24)の各項目について、どの程度満足していますか。それぞれの事項につき、あてはまる番号に○をつけてください

（それぞれ○は1つずつ）

	あてはまる番号 職場の性質上、 あてはまらない	不満足	どちらか と い え ば 不満足	どちらか と い え ば 満足	満足
(1) 日常的に従事している仕事の責任の軽重	/	1	2	3	4
(2) 日常的に従事している業務に対する社会からの評価	/	1	2	3	4
(3) 日常的に従事している業務の分野	/	1	2	3	4
(4) 日常的に従事している業務の知的・技能的難易度	/	1	2	3	4
(5) 日常的に従事している業務の社会的な意義	/	1	2	3	4
(6) 業務の内容から見た自分の収入あるいは給与の額	/	1	2	3	4
(7) 事務所内での昇進の可能性	0	1	2	3	4
(8) 案件が安定的に確保できること	/	1	2	3	4
(9) 自分のスキルを向上させる機会	/	1	2	3	4
(10) 自分の労働時間の管理の自由度	/	1	2	3	4
(11) 労働時間との釣り合いから見た自分の収入あるいは給与の額	/	1	2	3	4
(12) 職場の同僚（先輩、後輩の弁護士を含む）との関係	0	1	2	3	4
(13) 産休や育児休暇、介護休暇を取得することに対する事務所の理解	0	1	2	3	4
(14) 国選弁護や民事法律扶助などの公益的な弁護活動を行えること	0	1	2	3	4
(15) 弁護士会の会務活動	0	1	2	3	4
(16) 弁護士としてのキャリア・アップの可能性	0	1	2	3	4

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑳

・

・

・

・

【6】

問 12-3 次の各項目について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

(1) 労働時間	短すぎる 1	どちらかという と短い 2	ちょうどよい 3	どちらかという と長い 4	長すぎる 5
(2) 手持ちの件数	少なすぎる 1	どちらかという と少ない 2	ちょうどよい 3	どちらかという と多い 4	多すぎる 5
(3) 仕事の責任の軽重	軽すぎる 1	どちらかという と軽い 2	ちょうどよい 3	どちらかという と重い 4	重すぎる 5
(4) 日常的に従事している業務分野	狭すぎる 1	どちらかという と狭い 2	ちょうどよい 3	どちらかという と広い 4	広すぎる 5
(5) 国選弁護や民事扶助などの公益活動への参加の機会	少なすぎる 1	どちらかという と少ない 2	ちょうどよい 3	どちらかという と多い 4	多すぎる 5
(6) 弁護士会の会務活動の負担	少なすぎる 1	どちらかという と少ない 2	ちょうどよい 3	どちらかという と多い 4	多すぎる 5
(7) 従事している業務の技術的・知的難易度	低すぎる 1	どちらかという と低い 2	ちょうどよい 3	どちらかという と高い 4	高すぎる 5

問 12-4 その他、とくに満足を感じている事柄があれば記入してください。

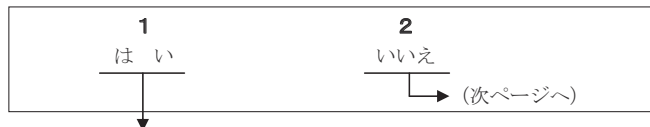
問 12-5 その他、とくに不満を感じている事柄があれば記入してください。

問 13 キャリアを積むうえでの負担

問 13-1 以下の事項は、**弁護士としてのキャリアを積むうえで**、なんらかの負担になっているでしょうか。負担になっている場合には「負担になっている」、なっていない場合には「負担になっていない」、これらの負担を負う必要のない場合には、「該当せず」に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	該当せず	負担になっていない	負担になっている
(1) 生活費を得ること		1 _____ 2	
(2) 家事	○	1 _____ 2	
(3) 育児	○	1 _____ 2	
(4) 介護	○	1 _____ 2	
(5) その他で負担になっていることがあれば、具体的に記入してください。 []			

問 13-2 あなたが弁護士登録をした後に、あなた、またはあなたの配偶者は、出産または育児を経験されていますか。



【以下の付問は 問 13-2 で「はい」と答えた方のみにお伺いします】

付問 1 あなた、またはあなたの配偶者の出産・育児によって、あなたの業務に次のような影響がありましたか。該当するものに○をつけてください。(○は(1)から(8)についてそれぞれ1つずつ)

	あった	なかった	わからない
(1) 収入が減った	1	2	3
(2) 顧問先を失った	1	2	3
(3) 事務所をやめざるをえなかった	1	2	3
(4) 昇給が遅れた	1	2	3
(5) 経営者弁護士への昇進が遅れた	1	2	3
(6) 顧客が増えた	1	2	3
(7) 新規分野に進出した	1	2	3
(8) その他 (具体的に: _____)			

付問 2 あなた、またはあなたの配偶者の出産・育児にあたり、産休・育児休暇は取得されましたか？取得された場合には、おおよその期間についてもご記入ください。また、有料のベビーシッター等の利用はしましたか。それぞれ、以下の表を埋める形でお答えください。弁護士登録後、複数回出産・育児を経験された方は、それぞれ該当する欄についてご記入ください。

	A. 産休・育児休暇の取得の有無	B. 有料のベビーシッター等の利用
1人目の子ども	1 取得した (期間: 約 _____ 日間) 2 取得しなかった	1 利用した 2 利用しなかった
2人目の子ども	1 取得した (期間: 約 _____ 日間) 2 取得しなかった	1 利用した 2 利用しなかった
3人目の子ども	1 取得した (期間: 約 _____ 日間) 2 取得しなかった	1 利用した 2 利用しなかった

【6】

問 14 ワーク・ライフ・バランスについて

問 14-1 あなたの考えるワーク・ライフ・バランスについて、最も近いもの1つに○をおつけください。

- 1 仕事と個人・家庭生活では、仕事を優先するのが理想だ
- 2 仕事と個人・家庭生活では、個人・家庭生活を優先するのが理想だ
- 3 仕事と個人・家庭生活では、仕事と個人・家庭生活の両方をともに重視するのが理想だ

問 14-2 あなたの現実の仕事と個人・家庭生活のバランスについて、最も近いもの1つに○をおつけください。

	そう 思わない	どちらか かといえ ば そう 思わない	どちらか かといえ ば そう 思う	そう 思う
仕事が忙しく個人・家庭生活のための時間が十分に持てない	1	2	3	4
個人・家庭生活における負担（家事・育児など）が多くて仕事の時間が十分に持てない	1	2	3	4

問 14-3 「仕事」、「個人・家庭生活」、「休養」の時間は取れていますか？あなたの認識に最も近いものに○をおつけください。

	取 れ て い な い ほ と ん ど	取 れ て い な い あ ま り	取 れ て い る ま あ	取 れ て い る か な り
仕事	1	2	3	4
家事・育児・介護のための時間	1	2	3	4
趣味・リフレッシュ等自分のための時間	1	2	3	4

問 14-4 あなたのワーク・ライフ・バランスを改善するために、必要と思われる制度や環境等がありましたらお書きください。

問 15 将来への不安

問 15-1 あなたは、弁護士としての自分の将来に不安を感じることはありますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

ほとんど 不安はない 1	どちらかといえば 不安はない 2	どちらかといえば 不安がある 3	かなり 不安がある 4
---------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------

問 15-2 あなたの弁護士としての将来に対する不安は、3年前(2011年1月)と比べて、どのように変化しましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

不安が増した 1	どちらかという と不安が増した 2	変わらない 3	どちらかという と不安が減った 4	不安が減った 5
--------------------	--------------------------------	-------------------	--------------------------------	--------------------

問 15-3 弁護士としての将来に対する不安について、どのような点で、どのような変化があったかについて、具体的に説明してください。

--

問 15-4 あなたは、現在、弁護士としての自分の将来について、次の点で、以下のような不安を感じることはありますか。次の(1)から(8)の各項目について、どの程度当てはまると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

	職場の性質上、 あてはまらない	ほとんど 不安はない	どちらかといえば 不安はない	どちらかといえば 不安がある	かなり不安がある
(1) 自分の事件処理能力	/	1	2	3	4
(2) 安定した収入の確保	/	1	2	3	4
(3) 新たな顧客の獲得	0	1	2	3	4
(4) 顧客の信用の獲得	/	1	2	3	4
(5) 業務を行ってゆく上で、懲戒請求を受ける可能性があること	/	1	2	3	4
(6) 業務を行ってゆく上で、弁護過誤を起こす可能性があること	/	1	2	3	4
(7) 弁護士会の会務の負担の大きさ	/	1	2	3	4
(8) 無償の公益的活動の負担の大きさ	/	1	2	3	4
(9) 自己研さん、スキルアップ等の時間の確保	/	1	2	3	4
(10) 事務所から独立できるか	0	1	2	3	4
(11) 結婚・出産・育児・介護によるワーク・ライフ・バランスの確保	/	1	2	3	4

問 15-5 以上の(1)～(11)のうちで、不安の要因として最も大きなものはどれですか。(1)から(11)のうちから、1つ選んで番号でお答えください。

問 15-6 このほかに、あなたが弁護士として将来に対する感じている不安があれば、具体的に説明してください。

問 16 各業務分野の評価

右ページに挙げる各業務分野について、あなたから見て、(1) 知的・技能的な難易度が高いかどうか、(2) 社会的な意義が大きいかどうか、(3) 収益性が高いかどうか、の3つの観点からの評価をお伺いします。それぞれの分野につき、あてはまる個所すべての番号を○で囲んでください。
 なお、分野によって評価できないものがある場合には、「わからない」を○で囲んでください。

【回答例】

	(1) 知的・技能的 難易度が高い と思う	(2) 社会的に意義が 大きいと思う	(3) 収益性が高いと 思う	わからない/ 評価できない	
(α) 分野A	1	2	3	4	←わからないとき
(β) 分野B	①	2	3	4	←(1)だけあてはまるとき
(γ) 分野C	1	②	③	4	←(2)と(3)があてはまるとき
(θ) 分野D	1	2	3	4	←すべてあてはまらないとき
(ε) 分野E	①	②	③	4	←すべてあてはまるとき

問 16 各業務分野の評価		(1) 知的・技能的 難易度が高い と思う	(2) 社会的に意義が 大きいと思う	(3) 収益性が高いと 思う	わからない/ 評価できない
刑事	(ア) 刑事弁護	1	2	3	4
	(イ) 少年事件	1	2	3	4
	(ウ) 犯罪被害者支援	1	2	3	4
一般民事	(エ) 遺言・相続	1	2	3	4
	(オ) 近隣関係問題	1	2	3	4
	(カ) 不動産売買	1	2	3	4
	(キ) 建築紛争	1	2	3	4
	(ク) 債権回収	1	2	3	4
	(ケ) 労働災害	1	2	3	4
外国人の人権問題	(コ) 外国人の人権問題	1	2	3	4
消費者問題	(サ) 消費者側	1	2	3	4
	(シ) 業者側	1	2	3	4
環境・公害問題	(ス) 環境・公害問題	1	2	3	4
交通事故	(セ) 原告側	1	2	3	4
	(ソ) 被告・保険会社側	1	2	3	4
医療事故	(タ) 患者側	1	2	3	4
	(チ) 医師・病院側	1	2	3	4
家族・親族	(ツ) 国内事件	1	2	3	4
	(テ) 国際事件	1	2	3	4
不動産賃貸借	(ト) 貸し主側	1	2	3	4
	(ナ) 借り手側	1	2	3	4
労働問題	(ニ) 労働者側	1	2	3	4
	(ヌ) 使用者側	1	2	3	4
行政事件	(ネ) 個人代理	1	2	3	4
	(ノ) 企業代理	1	2	3	4
	(ハ) 行政機関代理	1	2	3	4
税金問題	(ヒ) 個人・零細企業代理	1	2	3	4
	(フ) その他企業代理	1	2	3	4
倒産整理・債務整理	(ヘ) 任意整理・個人再生・個人破産	1	2	3	4
	(ホ) 企業倒産・整理・再生	1	2	3	4
	(マ) 破産管財人・再生監督委員	1	2	3	4
企業法務	(ミ) 企業合併・買収	1	2	3	4
	(ム) 独占禁止	1	2	3	4
	(メ) 知的財産	1	2	3	4
	(モ) 渉外・国際取引	1	2	3	4
	(ヤ) その他の企業法務	1	2	3	4

⑤=7

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

【7】

【最後に、現在のあなた自身に関する基本的な情報をお伺いします】

F 1 あなたの性別

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの生年。西暦または和暦のいずれかでお答えください。

西暦	1	9	年、	和暦	昭和		年
----	---	---	----	----	----	--	---

F 3 配偶者はいますか。(〇は1つ)

1 いる	2 いない	→ F 4へお進みください
------	-------	---------------

【F 3で「1 いる」と答えた方にお尋ねします。】

F 3-1 配偶者はどのような職業に就いていますか。(〇は1つ)

1 弁護士
2 裁判官または検察官
3 その他の公務員
4 民間企業の役員・従業員
5 自営業
6 その他 (具体的に記入してください)
7 無職

F 3-2 配偶者の所得(税込。確定申告をする場合は申告所得)は概ね以下のいずれに当てはまりますか。(〇は1つ)

1 70万円以下	5 500万円以上 700万円未満
2 70万円超 200万円未満	6 1000万円以上 1500万円未満
3 200万円以上 300万円未満	7 1500万円以上 2000万円未満
4 300万円以上 500万円未満	8 2000万円以上

【全員の方にお尋ねします。】

F 4 現在生計を共にしているご家族のうち、お子さんの数および介護を要する人の数をご記入ください。同居・別居を問いません。

(いないときは0と記入してください)

未就学児童の数	小学生/中学生の数
人	人

F 5 あなたが国内で在籍したことがある学部・学科を、すべてお答えください。また、その大学名につきましてもご記入ください。(〇はいくつでも)

1 法学系学部・学科 (法科大学院を除く)	(大学名:)	大学)
2 他の文系学部・学科	(大学名:)	大学)
3 理系学部・学科	(大学名:)	大学)
4 その他の学部・学科	(大学名:)	大学)
5 大学に入学したことはない		

【7】

F 6 外国での学士号以上の学位取得の有無をお答えください。LL.Mを取得された方は、その取得が弁護士資格取得前であったか、取得後であったかについてもお答えください。(○はいくつでも)

1 外国での学位は取得していない	4 LL.M.以外の修士号
2 B.S. / B.A.等の学士号	5 J.D.
3 LL.M. ⇒LL.M取得の時期	6 J.D.以外の博士号
1 弁護士資格取得前	7 その他 (具体的に記入してください)
2 弁護士資格取得後	

F 7 あなたは、**弁護士登録をする前に**、何か別の職業に就いていましたか。就いていた場合はどんな職業でしたか。次の職業の中であてはまるものの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)
さらに、それらの職業をどの程度の期間経験したかを、年月数でご記入ください。

⑤=8

弁護士登録前の職業	在職期間 (年月数)				
1 弁護士以外の職業についてことはない	_____				⑥
2 裁判官	約		年	月	⑦～⑩
3 検察官	約		年	月	⑪～⑭
4 裁判所事務官・書記官、検察事務官	約		年	月	⑮～⑰
5 2-4以外の国家公務員・地方公務員	約		年	月	⑱～
6 隣接法律専門職者(具体的な名称: _____)	約		年	月	・～・
7 民間企業の役員・従業員	約		年	月	・～・
8 パート・アルバイト等	約		年	月	・～・
9 その他の職業(具体的に: _____)	約		年	月	・～・

回答を記入した日をご記入ください。()月()日

・～・

質問は以上です。長時間ご協力をいただき、まことにありがとうございました。心から感謝いたします。返信用封筒(切手不要)に封入の上、ご投函お願いいたします。

ご希望の方には調査結果の概要をお送りしますので、同封の葉書にご氏名・ご住所をご記入のうえ、シールを貼って、この調査票とは別に
ご投函ください。

【7・8】